

これからの暮らしを楽しみたい方へ

# 大人のための木の家の のんびり平屋の暮らし

(住宅部分 30.75坪)



ご予約制

## 完成見学会

### 9.22(土) 23(日)

9:00 ~ 18:00

会場 直江津方面

〈ご予約につきまして〉

- 駐車場に限りがあるためご予約制とさせていただきます。見学をご希望の方は、大変お手数ですが、お電話・メール、または下記のご予約QRコードより前日までにご予約ください。ご予約いただいた方に会場の詳細をご案内させていただきます。(片建設㈱ 担当: 服部・金田・片)
- どうしても当日都合のつかない方へ  
9/30までは見学可能です。ご都合の良い日時をお知らせください。



ご予約QRコード

☎ 0120-60-9016

E-mail ✉ info@katakensetsu.com

創業大正8年  
家を造りつづける98年  
木のめぐり体験研究会  
**片建設株式会社**

## 片建設の家づくり



こんにちは。片建設の丸山です。

今回ご見学いただくのは、60代ご夫婦がお住まいになることをイメージした「コンパクトな平屋建て」です。人生百年と言われております。弊社も、お独りやご夫婦でのんびりと暮らす住まいのご相談をよくいただきますが、家づくりに限らず「これからの暮らし」を楽しみたいと考える皆さまには是非今回の見学会をおすすめします。

もちろん片建設がこだわる「木の家」、おすすめする「光冷暖」についてもご覧いただけます。お気軽に見学をお申込みください。お待ちしております。

片建設株式会社 代表取締役 **丸山隆史**



『15歳から家づくり一筋50年。』  
片建設株式会社  
代表取締役 丸山隆史  
(526年生まれうさぎ年 A型です)

### 担当大工から一言

最近の住宅は工場で加工されたものを組み立てるだけのものが多いですね。こちらのお宅は大工の手加工ならではの「丸太の梁」も見どころです。俺は昔ながらの大工職人になりたくて片建設に入社しました。手間と時間はかかりますが、俺たち大工を含め、左官屋、屋根屋、建具屋、塗装屋などの職人たちと一緒に作った手作りの家の良さをぜひ感じてほしいと思います。



棟梁 日馬 (30才)

平成19年に大工見習として入社。5年の年季を明け年間3~4棟の棟梁を任される。



Y様邸の建て方作業の様子。

2020年省エネ基準を超える断熱基準が標準

# 木の家 × 光冷暖

風の吹かない冷暖房システム光冷暖は未体験の心地よさ

片建設の自社大工が建てる「木の家」

「家造りの良し悪しは大工の腕で決まる」と昔から言われています。片建設の自社大工は5年間の修行を義務付け、1年に1回、自社独自で技能検定を行い大工職人の育成に努めています。また、地元で育った自社大工による家造りのため、上越の地域にあった家造りを行うことができます。



冷暖房の悩みを解決する「光冷暖」とは?

「光冷暖」は、自然の「石」本来の力を利用し、室内環境を調整することで、エアコンやストーブが無くても24時間365日快適な空間をキープすることが出来る次世代型冷暖房システムです。(環境大臣賞受賞)

片建設は大工の技術を生かした木の温もりを感じる家の設計及び新築、リフォームの施工を行う注文住宅専門会社です。現在大工8名+大工見習3名、上越地域で自社大工人数No.1の大工集団です。人から人へ受け継がれてきた職人の技術を生かした手仕事の家づくりをしています。価格の目安は新築標準坪単価50万円〜。(設計、施工込)

※家の条件により異なります。詳しくはスタッフまでお尋ね下さい。

片建設 検索 ☎ 0120-60-9016

FAX.025-525-4188  
E-mail ✉ info@katakensetsu.com

建設業許可 新潟県(特-30)第20366号 一級建築士事務所片建設 建築設計事務所 新潟県知事登録(二)第3984号

創業大正8年  
家を造りつづける98年  
**片建設株式会社**  
木のめぐり体験研究会  
上越市大字岡原408番地

# 大人のための木の家の のんびり平屋の暮らし



大工手加工の丸太の梁



子どもたちが独立し、大きな家はいらない。老後のことを考えて夫婦がくつろげる家にしたいとY様が望んだのは平屋の家でした。長年培ってきた家づくりの知識と経験から、季節の移り変わりや周りの環境にも配慮し、日当たりや風通しにもこだわりました。

## 見どころ

見上げると大きな梁と屋根勾配を生かした杉板張り天井。杉の丸柱も目を惹きます。4畳半のたたみの小上がリスペースはここで晩酌するのが楽しみです



床の間と仏間スペースのある6畳の和室



どこの部屋へ行っても温度差が少ない「光冷暖」を設置



コードも靴も仕舞える「シューズクローク」



雨や雪の日も洗濯物干し場に困らない「サンルーム」



使い勝手のよい、大容量の「食品庫」



大工手製の造作キッチンバック収納とカウンター



その他「老後を考えた玄関のスロープ、ゆるやかな階段」など、暮らしを楽しむ工夫がたくさん♪



ゆったりとしたトイレ



夫婦の会話がはずむ対面キッチン



洗面脱衣所や腰板には調湿・殺菌・リラックス効果のあるヒノキ材を使用しました。



足触りがやわらかい杉の床板

# 建主のY様にお聞きしました

Q1 家を建てかえようと思ってから、見学会などには行かれましたか？

片建設さん以外に、2社行きましたね。片建設さんの構造見学会では、普通の人は見ないかもしれない場所も見ただけで、「これは他とちがうな」って思いましたね。仕事が丁寧で、いずれ隠れて見えなくなる部分もきちっとしていました。細かく言えば、柱と柱とか、板と板の「継ぎ」の部分。そこがきれいなようになって、手を抜いていないんですね。1ミリのズレもなくて、ピタッと合っている。それを見て、「ここにまかせればいい、この会社なら大丈夫だろう」ってことになりました。

Q2 家づくりでこだわったポイントがありますか？

子どもがそれぞれ所帯をもったので、夫婦で住む平屋の家をお願いしました。こだわったことは、「木」ですね。木目を重視して、外壁も木目調の建材で、外から見ると木が張っているように見えるんですね。あれは夫婦で気に入っています。木がいいなと思ったのは、片建設の見学会を見に行った時ですね。入ってすぐに木の匂いを感じたんですね。床に立った時に足に伝わるあたたかさというんですかね。感触がいいんですね。天井も木目で、腰板もきれいに張ってもらいました。見学会に来ていただければ、見どころが何カ所もあると思いますよ。あと、リビングには畳の小上がりを取り入れました。一日中立ち仕事をしていると、ほっと一息つく時は畳がいいんですね。夕飯は畳の小上がりでいただく予定です。

Q3 気に入っているポイントはありますか？

部屋が狭いから、社長が「天井を上げて勾配を付けることでちよつと広く見える」と提案してくれました。できた天井を見せたら、本当にそうなるってすごいなと思いました。提案してもらってよかったです。

Q4 光冷暖を導入したきっかけを教えてください。

見学会に行った時に良さを感じましたね。風がないのに、涼しくて快適で、「これはなんだ？」って思いました。今年みたいな暑い夏は光冷暖があったら最高だったでしょうね。

Q5 これから家を建てる方に何かアドバイスがあれば教えてください。

老後のことを考えるというのと心配になってきますよね。階段は上がったりが下がりたりが苦痛になってくると思っています。それに周りの人がよく、「子どもがいなくなると2階なんて全然使わねえ」って言うのを聞いて、うちは平屋で必要最低限のものがある方がいいかな、って思っただけです。あと、50〜60代以上で夫婦二人暮らしの老後を考えている人がいるなら、平屋も選択肢に入れたらいいかなと思います。今回の見学会がそういう方の参考になればと思います。実際に見ていただいで、私たちと違う感覚が得られたらいいんじゃないでしょうか。

JCV  
**家業ガールのおうちCHECK!!**  
 にて放送中!!  
**～住む人の趣味とともに  
 風合いを増す木の家～**  
 11年前に建てた平屋のM様邸が紹介されています!  
 是非見てください!!